

姫城中学校だより



令和7年12月24日 校長 深江 祐史

二学期が終了しました

県内ではインフルエンザが流行し、学級閉鎖等の措置をした学校もある中、本校は何とか無事に令和7年度の第二学期を終えることができました。これは、生徒の皆さんが寒い中にも関わらず、こまめに手を洗ったり、しっかり教室の換気に気をつけたりしてくれたおかげだと思っています。あとは寒い中でも体育の授業や部活動に真剣に取り組んでくれたからでしょうか。持久走も頑張っていましたね…しっかり予防する、そして体力をつける。どちらも大切なことだと思います。

それでも残念ながら、終業の日を欠席せざるを得なかった人もいます。特に3年生の皆さんにとっては、勝負の冬休みです。自分でできる対策はしっかり行って過ごしてほしいと思います。

終業式が行われました

本日(24日)の終業式では、3名の生徒に「二学期の反省と今後の抱負」を述べてもらいました。

1年代表の 池上 絆奈さんは、忙しい二学期だったけど、終わってみると心に残る思い出となった。
①行事にみんなで取り組んだことで少しずつクラスの団結力が高まっていった②企業見学では、仕事と社会のつながりを知ることができた。3学期は、学年全体でメリハリのある生活としたいと抱負を述べました。

2年代表の 安藤 明葵さんは、成長できたこととして、①各行事に対して、自分たちだけで積極的に動ける場面が増えた②「めんどくさい」を乗り越え、「恥ずかしい」に打ち勝ち、みんなと協力して修学旅行を行うことができて達成感を感じた。改善すべきこととしては、学校生活の中で浮かれて騒がしくなることもあったので、三学期は落ち着いた生活を心がけ、受検を控えた3年生の迷惑にならないように過ごしたいとの言葉がありました。

3年代表の 富森 愛純さんは、①全ての行事が最後になるという意味を考えることが多かった②各行事に対しては、周りのみんなの様子をよく見ながらも自分から積極的に動くことができた。反省点としては、家での学習時間が足りなかったこと。勉強から逃げる時もあったが、今は少しずつペースをつかめるようになってきている。そして、いよいよ受検が近づいてきているが、クラスや学年の仲間と互いを思いやり、最後の一人が合格するまで支え合いたいとの思いあふれる言葉がありました。

今回は、壇上での発表でしたので、緊張したと思いますが、3名とも堂々としていて、姫城中学校のそれぞれの学年の代表としての自覚や誇りを感じる素晴らしい内容の発表でした。

その後、私からは、全校生徒に対して以下の話をさせていただきました。

(前略)「自立・感謝・貢献」…この二学期はどうだったでしょうか。

この二学期、様々な行事がありました。体育大会では、団長を中心に優勝目指して頑張りました。文化発表会・合唱コンクールでは、学年優勝、MJを目指して頑張りました。部活動では秋の

中体連、優勝目指して頑張りました。また、学習面でも定期テストや実力テストでよい結果を目指して頑張りました。

とても良い結果がでたものもあったでしょうし、そうでなかったこともあったと思います。

私が皆さんに大事にしてほしいのは、「結果よりもプロセス、その過程」です。そのプロセスを誇ってほしいと思います。

「どうやったら、団技で勝てるか？みんなと一緒に必死に作戦を考えた」

「時には、言い合いをしながら、ぶつかり合いながらも自分たちらしい合唱を目指した」

「試合を想定して、あえて自分にプレッシャーをかけて追い込んで練習した」

「苦手な数学を何とかしたいと、自分から先生に問題プリントをもらいに行って頑張った」

結果だけではありません。そこまでのプロセス全てが皆さんの財産です。

また、こんな人もいたかもしれません・・・

「自分から挨拶することを続けてみた」

「落ち込んでいる友だちに声をかけた」

その友達は、あなたの優しさに気づいていないかもしれませんが、その瞬間、誰かに心を飛ばせる力はあなたの魅力です。

今朝、いつものように正門でのあいさつを終え、校舎に戻ろうとしたとき、先日PTAやOBの方々に作成していただいた正門の大きな門松(学校HP参照)の南天の枝が倒れているのを見つけました。すると、私の前にいた女子生徒がすぐに門松に近寄ってしゃがみ込み、それを直してくれました。小雨の降る中でしたが、そんなことが自然にできる生徒がこの中にはいます。

今日、皆さんはこのあと通知表をもらいますが、通知表の数字には表れない「自分の中の小さな成長」を、どうか自分自身でしっかりと認めてあげてください。それは、あなたの「自立」につながる、貴重な財産です。

明日から13日間の冬休みに入ります。年末年始は、世の中の空気が「新しく」入れ替わる時期です。ここで皆さんに、お願いがあります。

それは、「感謝を言葉にしてほしい」ということです。

一年の締めくくりに、家族や友達・周りの人へ「ありがとう」を伝えてみてください。ちょっと恥ずかしいかもしれませんが、言葉にすることで、相手も気持ちいいでしょうが、自分自身の心もすっきりします。清々しい気持ちで新年を迎えることができると思います。

さて、3年生の皆さん。皆さんだけは、今年の冬休みは、これまでとは違いますよね。受験を控え、この冬休みが正念場だと感じている人も多いでしょう。焦りや不安を感じるのは、皆さんが本気で向き合っている証拠です。まずは、体調管理を第一に、自分のペースを信じて一歩ずつ進んでください。たくさんの方が、皆さんを応援しています。

最後になりますが、1月7日、またこの場所で、全員が笑顔で元気に会えることを楽しみにしています。交通事故や体調に十分気をつけて、良い年を迎えてください。

(最後も素晴らしい、話を聞く態度でした)私の話は以上です。

本年も大変お世話になりました。しばらくの間、子どもたちを家庭・地域にお返しますが、どうぞよろしく願いいたします。よいお年をお迎えください。